

第十九回 赤字を解消して健全財政へ

市の行政を内閣行方の中に含大
切なことは、財政の確立である
。従つて、現在の市行政の最も
重要な問題は、財政をいかに運
営して行くかといふことであり、又
限りある財源を、いかに調整して
市民皆さんの御理解ある御厚方が
先ず第一に必要でありますとの

昭和24年度に比べ
市財政三倍となる

昭和二十九年年度以来赤字団体でありました本市も、ようやく昭和三十一年度をもつて赤字を解消し得る現状となりました。そこで近年の本市の財政規模がどのように変わつて来たかをみますと昭和三十二

第四百十號

31年度の追加更正

昭和三十一年度予算につきましては、前回の公表において九月迄の状況をお知らせしましたが、その後の追加更正予算を合せて当初予

一般會計豫算追加更正一覽表（單位千圓）

[illegible]

財產と公債

所集所	本市の三月末現在の財政概要にあ	有価証券
行刷	らわれた財産、公債、一時借入金	教育委員会管理財産
	等についてみますと	内現金

有価証券	◇財産
(一) 土族及び建物の	(一) 現金及び有価証券
市営實業財産	市営實業財産
土地	内 現金 三〇〇〇圓
	毛織品 圓

才入八億一千万
才出七億九千万

一般會計の收支一覽

三月末における昭和三十一年度取入交出の状況は次の通りで、五月末日の出納閉鎖期日（会計上）算というわけにはきません。

一般會計收支の狀況

▽才入の部		(単位千円)	
科目	最算	終算	
市税	1,000	1,000	取入済額
地方交付税	1,000	1,000	予算に対する割合
公営企業及兩連収入	1,000	1,000	
使用料及手数料	1,000	1,000	
分担金及負担金	1,000	1,000	

▽才出の部

學費	二、四〇〇	三、六〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇
市役所費	六、八〇〇	一、六〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇
消防費	二、七〇〇	一、六〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇
土木費	三、六〇〇	一、六〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇
建築費	四、〇〇〇	一、六〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇
教育費	二、三〇〇	一、六〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇
社會及労働施設費	六、六〇〇	一、六〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇
保健衛生費	三、一〇〇	一、六〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇
總計	二、四〇〇	三、六〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇

特別會計收支

[illegible]

市稅收入九六%

總額 四億三千三百二十八萬圓

今期末における市場予算額は四億九千九百九十九萬九千九百九十九圓で、前年度に對し九六・三・%の増額を計した額の總計は五億四千六百九十九萬四千八百八十八圓であります。これを前年度同期に比較すると、予算額に對する収入率は四一・二・三・%、課税額に對する収入率は二一・五・%増となり、

三十一年度市稅納入狀況

税目	予算額	課税額	収入額	予算に比し る収入増減
市民税	一、一五五	一、一五五	一、一五五	増五
固定資産税	一、一五五	一、一五五	一、一五五	増五
自転車荷車税	三、三三三	三、三三三	三、三三三	増五
電気ガス税	三、三三三	三、三三三	三、三三三	増五
市たばこ消費税	四、四四四	四、四四四	四、四四四	増五
酒納繰越分	四、四四四	四、四四四	四、四四四	増五
旧法による税収入	二、二二二	二、二二二	二、二二二	増五
計 的 税	一、一五五	一、一五五	一、一五五	増五

お金は無駄なく
時間も無駄なく

運動が行われます。無駄をはぶき、お金を有効に活用するため
に、なたもこそぞて貯蓄しましょう。又六月十日は「時の記念
日」です。俗に「時は金なり」と言われますが、時間も、お金
も共に生かして使いましょ。

縣營住宅
入居募集
度建設
宅岩神

された前橋分の四十戸の入居者を募集途中で、申込場所は早稲十部建築課、受付期間は六月三日から七日までです。

100